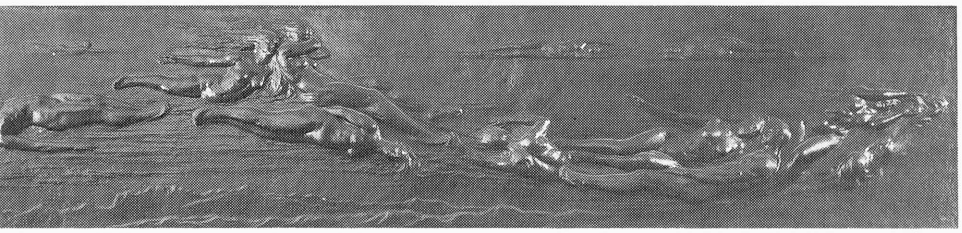
ISSN 0582－4478

京都大学附属図書館報



静脩

1991年8月
Vol. 28, No 2

The Kyoto University Library Bulletin

タイ国の『年次法律集纂』

東南アジア研究センター所長　矢野　暢

いま私が進めている研究は、タイ国（シャム）の近代期における国家構造の形成に関するものである。19世紀中期以降、タイのチャクリー王朝が上から主体的に進めた政治改革のことをふつう「チャクリー改革」と言うが、まだほとんど未開拓の研究領域である。

現在、私が続けているのは、『年次法律集纂（kotmai－pracham－sok）』という一次資料を読み進める作業である。ラーマ一世の代にはじまり、1941年度分まで、国王が発布した法律、勅令等を年次ごとにまとめた貴重な資料である。したがって、当然のことながら、いわゆる「チャクリー改革」が進展した時期から20世紀の1930年代にいたるまで、その間に公布された法律も、これにほとんど集纂されているから便利である。全部で54冊に分冊されているが、全巻そろってはなかなか手にはいらず、バンコクの古書店を通じて僥倖をまって入手するほかない。

これまで発展途上国の研究でいちばん欠落しているのは、法律および法制度の分野を対象とするものであった。タイは欧米の植民地にならなかったことによって、独自の法制度をもち続けた。そのタイなどを数少ない例外として、多くの国ぐには植民地化し、宗主国が植民地に強いる植民地法のもとで統治を受けることになった。いずれにしても、アジア地域の近代期では、各国ともに相当な法制史的集積をみているのである。

タイ国とて例外ではなく、「チャクリー改革」期の法律の数は相当な数にのぼる。逆に言えば、「チャクリー改革」は法治主義的手続きを介して展開したのである。これまで、「チャクリー改革」を政治発展の観点からだけとらえ、国王の権力性をめぐる政治力学だけを分析する接近方法、あるいは社会経済史的に経済的基盤の変容だけに着目する視点が採られてきたが、私としてはそのような在来の「チャクリー改革」論にいつしか基本的な不満をもつようになった。そして、現在取り組んでいるような、法律の変化を分析する手法によってこの時代の政治的変化を論理化するという接近方法を採るにいたった。いずれにしても、タイ国の近代史を知ろうとするとき、この『年次法律集纂』は決定的に重要な資料である。

タイ国の近代が生んだもうひとつの大きな資料集纂としては『歴史集纂（Prachum－phonsawadan）』

があるが、タイ国史を学ぼうとするとき基本的に役に立つ貴重な史料である。王朝年代記を軸としながらも、地方史までふくまれていて、編纂の意図とその規模はかなり野心的であるといえる。ただ、この史料は、統一主権国家を築こうとしていたチャクリー王権の問題意識をもろに反映しているし、併せて絶対王権の妥当性への懐疑はいささかも宿されていない。つまり、この史料は十九世紀後半という、それが編纂された時代の要請にしばられていて、テキスト・クリティークを加えながら用いないといけないという限界をもっている。

その点、『年次法律集纂』のほうは、集纂の意図に王室イデオロギー的色彩ははるかに希薄であって、近代史分析のための史料的素材としての意義ははるかに高い。事実、この『集纂』の語りかけてくる問題群には限りなく興味深いものがある。これに収められている法律その他を、一篇一篇こまめに読み進める作業は単調きわまりないが、法律が採りあげている主題、文章表現、国王の意思などを細かく意識しながら読み込んでいくことによって、多くの貴重な情報が得られることになる。

「チャクリー改革」は、国王の意思による、王権を媒介としての上からの改革であったが、それはことごとく法律的措置を採ることを通じて行なわれた。当時の法律的措置は、立法議会など存在しない時代であるので、国王の意思(phraracha－niyom)を直接法文化する勅令方式が主であった。「布告（ prakat)」という形式が圧倒的に多いのは当然であったといえよう。

『法律集纂』には、ラーマ四世の発布した勅令等は372篇収められている。これを読む作業は、すでに全篇終えた。法律が国王の恣意をそのまま反映しえた時代的性格を反映して、内容は実に多彩である。しかし、まさにそうであることによって、当時のチャクリー王権の問題意識が如実に読みとれることにもなる。

ちなみに、この『集纂』に収められているラーマ四世の最初の布告は、金細工師強制連行に関するものである。玉座などを製作するのに必要な金銀細工師を、全国各地からバンコクに強制的に連れてくることを命ずる布告である。佛歴2394年、西暦で言うと1851年である。まさに、この当時の王権の問題意識を象徴する内容のものと言えよう。

ラーマ四世の政治的問題意識を整理してみると、たとえば「プライ（ phrai)」に関する布告が多いと言うことが注目される。「プライ」は王族および高級官僚に直属する登録自由民のことであるが、これの登録が確実になされず、その結果、登録を介して国王につながる臣民と見做されるというプライについてのたてまえが崩れ、王族や高級官僚の私有的存在になるという現実が、深刻な問題を投げ掛けていたことがわかる。この「プライ」の問題と並んで、政府官僚および地方官僚の汚職、とくに徴税官（ chao－phasi ）の不正の問題も、数多く布告に反映している。このように、ラーマ四世が、もっぱら王室財政の強化につよい関心を抱いていたことがわかる。

ラーマ四世は、反面で、佛教会の管理と佛教徒の規律の問題にもただならぬ問題意識を寄せていたことがわかる。いずれにしても、ラーマ四世は本質的に守旧的性格のつよい国王であったという事実が例証できるのである。もしそうだとしたら、「チャクリー改革」と呼ばれる近代化現象とラーマ四世との意味連関には、従来の通説とは異なった新しい視点が求められることにもなる。ふつう、「チャクリー改革」の起点は、1855年に英国とのあいだで締結された「バウリング条約（ the Bowring Treaty)」と結びつけられるわけだが、この不平等条約を主権侵害につながる国家的危機の源泉として受けとめる意識は、ラーマ四世においては意外に希薄であったことがわかる。

『法律集纂』のラーマ四世（在位期間1851－1868年）の部分は、第５分冊から第８分冊にまでおよんでいる。第８分冊の途中から、ラーマ五世（1868－1910年）の部分になる。現在、私の作業は、ラーマ五世が即位した1868年から1892年までの期間をカバーしおえたところである。この間に388編の法令が出されている。この時期には、法令の形式が多様化し、布告だけでなく、勅令(phraracha－kamnot)、法律(phraracha－banyat)などと形式的進化がみられる。また、法文の長文化も顕著であって77ページにおよぶものもあらわ

れる。

この時期のラーマ五世の問題意識は、まず行政の混乱の改善に向けられている。「バウリング条約」締結の帰結として、外国との自由貿易がにわかに深まり、その結果として生じた行政的混乱に事後処理的に対応する性格の法令が実に多い。また、この期間には、ラーマ五世が税金徴収のシステムをめぐって予想以上に苦慮していることもわかる。1873年に発布された税制改革のための法律は初めて読むものであったが、徴税機構の改善についての問題意識を集大成したものとして、重要な意味をもつことがわかった。このような過程を通じて、政府の大蔵省機能の強化も図られていき、しだいに税制の一元化が実現されていくのである。ラーマ五世の農業の生産性向上にたいする関心も顕著に読みとれる。農業の促進に直接関係する法令のほか、運河の建設をうながすもの、輸出品目の育成に関するものなど、いくつか注目すべき法令の発布をみている。

ラーマ五世のもとでの法令案件の多様化は、このように統治の前半期で早くもはっきりと読みとれる。いわゆる「チャクリー改革」の構造が少しづつ明瞭にみえてきた感じである。少なくとも、王権の側の動機ははっきりした。つまり、王室財政の強化という守旧的性格の問題意識がその中核であったということである。しかし、そのために甘受した外国勢力の介入が、国家秩序の不安定と、とくに行政的対応能力の無能力化につながり、そこで積極的に上からの改革を図る現実的必要性が生じ、歴史のある段階で体系的な改革構想が描かれたとき、「チャクリー改革」が現実化したと考えられるのである。

『法律集纂』を読み進める作業は、まだ道なかばである。「チャクリー改革」の全容を知るまで、この作業を着実に進めねばならない。一次資料の語り掛ける事柄の大きさに、日々感動する毎日である。

「上野文庫」によせて

経済学部教授　木　崎　喜代治

京都大学経済学部所蔵の「上野文庫」の中から主としてイギリス思想史上の古典を選んで、「原典でみる近代ヨーロッパ思想の歩み」と題する展示会が附属図書館で開催されたのを機会に、その文庫についてあらためて紹介しておきたい。

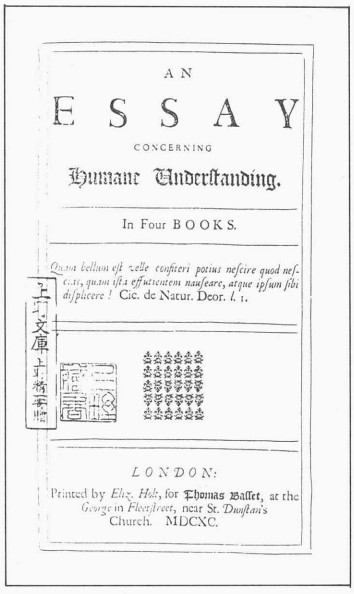
この文庫のうちの注目すべき個々の文献については、すでに平井俊彦本学名誉教授が、この『静脩』1988年9月号において、かなり詳しく述べておられるので、その点については、ここでは省略することとする。それ以外の点については若干の重複を厭わず記しておきたい。

本文庫の創設者である上野精一氏は1882年10月28日、上野理一氏の長男として生まれた。上野理一氏は、いうまでもなく、朝日新聞の創立者の一人であり、古美術品の収集家としても名高い。上野精一氏は、第三高等学校、東京帝国大学法科大学を卒業したのち、日本勧業銀行に入ったが、まもなく1910年に朝日新聞社に入社し、それ以降、1970年に89歳の高齢で他界するまで、朝日新聞のためにその生涯を捧げた。

その間、1931年に『綜合ヂャーナリズム講座』に三回連載の長大な論文「英国新聞史論」を発表し、1945年すなわち太平洋戦争敗戦の年に、ミルトンの『アレオパジチカ』を共訳して、1948年に『言論と自由』と題して刊行した。この訳書はのちに『言論の自由』と改題されて、岩波文庫に収められている。ミルトンがイギリス革命の渦中の1644年に書いたこの著作が、言論自由論史上の最大の古典であることはいうまでもない。さらに、氏は、1967年、86歳の時に、ベン・ジョンソンの戯曲『新聞協会』を邦訳し、角川文庫の一冊として公刊した。

これらの仕事からも明らかなように、上野氏が抱いていた理念は古典的な新聞人の理念、すなわち、言論の自由を礎石とする自由主義の理念である。ここから、氏は自由主義の祖国であるイギリスの歴史に足を踏み入れ、新聞関係文献の収集に着手する。しかし、新聞の発展の歴史は、必然的に、政治の変容、したがってまた社会の変容と密接に絡みあっている。こうして、上野氏の文献資料の収集の領域は、ジャーナリズムの歴史を越えて、イギリスの政治史から社会史にいたる歴史一般、哲学史から文学史にいたる思想史一般にまで及ぶ。さらにまた、イギリスの歴史はヨーロッパの他の諸国の歴史と深く関連しているゆえに、氏の関心は当然にもそこまで拡大していき、さらに、必然的に、日本にまで広がる。

図1．J. Locke の『人間知性論』、ロンドン、1690年刊


AN
ESSAY
CONCERNING
Humane Understanding.
In Four BOOKS.
Quam bellum est velle confiteri potius nescire quod nescis, quam ista effutientem nauseare, atque ipsum sibi displicere! Cic. de Natur. Deor. l. 1.
上野文庫
LONDON:
Printed by Eliz. Holt, for Thomas Basset, at the George in Fleetstreet, near St. Dunstan's Church. MDCXC.

上野氏は、この膨大なコレクションを1955年から連続的に京都大学経済学部へ寄贈し続けたが、

氏の死後は、上野淳一氏が父の遺志を受け継いで寄贈を続け、今日に至っている。したがって、京都大学経済学部が「上野文庫」の名のもとに所蔵するコレクションは、上野家に所蔵されていた文献資料のうち、美術書や日本文学の古典籍などを除いて、経済学部に寄贈された社会科学及び人文科学関係書である。

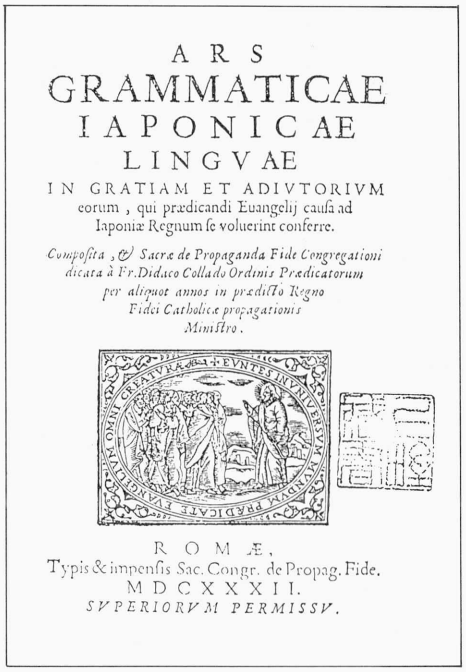
「上野文庫」は二部門に大別されうるが、第一は、新聞部門であり、ここには、17世紀のイギリス革命期に誕生した初期の稀覯の新聞をはじめとする多くの新聞の現物が集められているが、同時に、新聞の歴史についての研究書も網羅的に収集されていることはいうまでもない。第二は、一般部門であり、ここには、イギリスの歴史や思想史にかかわる原典および研究書がきめこまかく集められている。多数の思想家や政治家の著作の個々の事例についてはいちいち言及しないが、たとえば、ホッブズの『リヴァイアサン』の３種類の初版本、ロックの８種類の全集、あるいは、スミスの『国富論』の初版から第10版までのすべての版本、などを挙げておこう。

ヨーロッパ大陸の諸国が無視されているわけではなく、各国の種々の新聞や著名な著作家の原典も多数収められており、たとえば、トマス・アキナスの『神学大全』第一部の1482年ヴェニス版も所蔵されている。日本に存在する数少ないインキュナビュラのうちの一点である。日本の初期の新聞約300種、号外約120種が所蔵されていることも付け加えておこう。

和洋を合わせて、新聞部門は全体の約26パーセント、一般部門は約74パーセントを占める。

さらにまた、上野氏の関心は出版史にも向けられており、出版史や出版統制史の研究書はもちろん、著名な出版人の伝記や、ケルムスコット・プレス版をはじめとする美しい版本が集められている。また、イエズス会宣教師の日本からの種々の書簡集、東インド会社のモンタヌスの報告書、ケンペルの大著など、江戸時代の日本関係書が100点以上揃っていることも特筆すべきであろう。さいごに、イギリスの著名な思想家や政治家の自筆書簡が約20点所蔵されていることを付け加えておこう。グラッドストーン、バーク、ゴドウィン、カーライルなどの名前が見える。

図２． Collado の『日本語文法』、ローマ、1632年刊。


ARS
GRAMMATICAE
IAPONICAE
LINGVAE
IN GRATIAM ET ADIVTORIVM
eorum, qui prædicandi Euangelij causa ad
Iaponiæ Regnum se voluerint conferre.
Composita, & Sacræ de Propaganda Fide Congregationi
dicata à Fr. Didaco Collado Ordinis Prædicatorum
per aliquot annos in prædicto Regno
Fidei Catholicæ propagationis
Ministro.
ROMÆ,
Typis & impensis Sac. Congr. de Propag. Fide.
MDCXXXII.
SVPERIORVM PERMISSV.

この文庫の目録はこれまで二回（６分冊）刊行され、現在、第７分冊が印刷中である。これら全７冊が収める文献の総数は、総計で、洋書約 21,800冊、和書約4,700冊、合計約26,500冊に達する。個人の蔵書としては、一万冊を越えることはすでに稀であるから、この数字は世界的にみても例外的である。

しかも、このコレクションは、無秩序に集められたものではなく、明確な目的のもとに組織的に収集されたものであるから、その学問的利用価値はきわめて大きい。上野氏が、思想家の著作の多くの版本などを系統的に収集するためにいかに注意深い作業をなしたかは、現在残されている23冊にのぼる上野氏直筆の収書ノートから明らかに読み取ることができる。

「上野文庫」の意義は、しかしながら、以上に尽きるものではない。本文庫の形成者上野精一氏が生きた時代は、ちょうど日本の近代化の時期であり、わが国がその近代化に伴なうさまざまな矛

盾に苦しんでいる時代であった。上野氏もまたその苦しみを体験して、イギリス思想史の研究者となったのであった。しかも、氏は、同時に、日本を代表する新聞社の社主であった。このような二つの資格が結合することは稀なことであろう。国民が苦難の時期を生きているとき、世論の形成において新聞が演じなければならない役割はきわめて大きい。しかも、当面する問題は一国民全体の近代化であり、その自由の樹立なのである。したがって、上野氏がこの収集に情熱を傾けるのには、個人的・社会的必然性があったのである。すなわち、上野氏個人にとって、日本の現代をいかに把握し、それにたいしていかなる態度をとるかという問題があり、他方、社会的メディアとしての朝日新聞がこの日本にたいしていかに社会的責務を果たすかという問題がある。こうしたことを考えるとき、このコレクションの持つ意味は深く重い。

さいきん、外国の文献のコレクションが日本の（多くの場合、私立の）大学図書館によって（必ず、きわめて高価で）購入されたという話をよく耳にする。それ自体は、喜ばしいことであろう。ただ、「上野文庫」がそうした出来合いの収集品とは決定的に異なっていることは、上記の点から明らかである。その収集者は、日本人であり、しかも、研究者としてばかりでなく、日本の代表的新聞社の社主として、近代日本の形成に深く係わっていた。このコレクションは、日本の一近代精神の歩みを語ると同時に、近代日本史の一証人、いや、近代日本史そのものであるといわなければならない。

○

経済学部が所蔵する「上野文庫」の展示会「原典でみる近代ヨーロッパ思想の歩み」は、さる4月17日㈭から4月26日㈮までの8日間、京都大学附属図書館展示室において開催された。主としてイギリス思想史の古典から約120点を厳選し、そのほか、一般の関心を引くと思われる江戸時代の日本関係洋書やイギリスの印刷関係洋書を合わせて展示した。入場者数は合計647名であった。

（経済学部）

平成２年度　特別図書購入報告

番号	資　　料　　名	巻　数　・　年	出版社（国）	備付部局
1	森三樹三郎博士　中国中世研究資料カード集	全15冊、付別冊： 解題・総目次・索引 1990	朋友書店	文 学 部
2	内閣文庫蔵　朽木家古文書	15冊 （焼付　1,721枚）	高橋情報 システム	〃
3	Eustathii Archiepiscopi Thessalonicensis Commentarii ad Homeri Iliadem Pertinentes. Van Der Valk, Marchinus (ed.) （エウスタティオス：ホメロスのイリアス註釈）	vol. 1-4 1971-1987	E. J. Brill （NE）	〃
4	American Philosophical Quarterly （アメリカ哲学季刊誌）	vol. 1-21 1964-1984	North American Philosophical Pub. （US）	〃
5	故宮博物院の名蹟：名画　宗人山水画選集	全20葉タトウ入り 付解説書 複製	二玄社	〃
6	帝国教育　「帝国教育」復刻版刊行委員会編 大正12年１月－昭和２年12月	486-544号 合本30冊 復刻版 1990	雄松堂出版	教育学部
7	Tagungesberichte der Strafvollzugskommission, 1967-1970 （西独行刑委員会議事録）	13 Bd. in 5 vols. Reprint 1990	五山堂	法 学 部
8	U. S. Federal Trade Commission. Decisions. Findings, Opinions and Orders. （米国連邦取引委員会裁定集）	vol. 73-98, 100-102 104-107 1968-1986	G. P. O. （US）	〃
9	National Reporter System. Atlantic Reporter., Bankruptcy Reporter. etc. （全米判例体系）	52 vols. 1989-1990	West Pub. （US）	〃
10	Kodifikationsgeschichte Strafrecht : Reihe Grossherzogthum Baden. Schubert, Werner et al. (ed.) （ドイツ刑法編纂史資料：バーデン大公国分）	3 Bd. in 4 vols. Reprint 1989	Keip （GW）	〃
11	Criminal Procedure. (The Bill of Rights and American Legal History : 8) （米国刑事訴訟史）	4 vols. 1989	Garland （UK）	〃
12	Statistische Beihefte zu den Monatsberichten der Deutschen Bundesbank : Reihe 5; Die Wahrungen der Welt, 1974－1989. （ドイツ連邦銀行編　ドイツ経済統計）	Reprint 1990	極東書店	経済学部
13	中国書籍総目録　第４期－第７期	復刻版 1986-1989	不二出版	附属図書館
14	I. B. Z. － Internationale Bibliographie der Zeitschriftenliteratur. （国際学術雑誌記事索引）	vol. 25 1989	Felix Dietrich Verlag （GW）	〃

平成２年度　学生用図書（高額図書）購入報告

１．継続図書

(1)　複数分野

・ Bibliographic Guide to Government Publications.

・ OECD Publications.

・ 国際連合・国際機関及び主要国統計

(2)　社会科学

・ 有価証券報告書総覧（第１部上場）

(3)　自然科学

・ Sadtler Spectra : Infrared Grating.
Infrared Prism.

２．単年度購入図書

(1)　人文科学

・ The Complete Works of Sherwood Anderson. 21 vols.

・ The Complete Works of Sinclair Lewis. 24 vols.

・ Janson, Cobb, Pearson & Co. Solicitors Archives, 1728－1928. Microfilm 44 reels

・ 宮内庁書陵部所蔵　平安鎌倉時代古記録
小右記、権記、春記等　　焼付

(2)　社会科学

・ Kraus Curriculum Development Library. 1986, 1987, 1989 ed. Microfiche

・ Le Monde Diplomatique. Years 1954/57-1989, Microfilm 22 reels

・ Statistical Studies of East Asian Countries. Korea (Republic) (4 titles) Microfiche

・ 1920－30年代 ソビエト教育コレクション 1：尾高・大竹コレクション　Microfilm 19 reels

(3)　自然科学

・ Advances in Experimental Medicine and Biology. Vol. 244－271

・ Carl Friedrich Gauss Werke. 12 vols.

・ Comprehensive Medicinal Chemistry. 6 vols.

・ CRC Handbooks. 16 titles
CRC Handbook of Ion Exchange Regins., CRC Handbook of World Food Legumes. etc.

・ JIS ハンドブック　1990年版　全51巻、総目録

・ Journal of Chromatography Library. Vol. 6, 7, 12, 13, 21, 25-27, 29, 36-39 AB, 41 A, 42-44

・ Microfilm Copy of the Chemistry of Functional Groups (Vols. from 1964-1985) 20 reels

・ 海外研究開発レポート（農業問題）
Data No. HTR -1916
1-5, 7, 9, 10, 12, 14, 23, 25, 27, 28, 33

・ 新外科学大系
3-8, 10AB, 12, 13, 15, 16B, 17, 18, 19A, 20A, 21, 22A-D, 23A, 25B, 26ABD, 27B, 28, 29A-D

附属図書館所蔵図書６点が、新たに貴重書に認定される

「京都大学附属図書館貴重書指定等審査委員会」（平成３年３月18日開催）において審議し決定された貴重書について、貴重書指定の手続きが完了しましたのでお知らせします。

申請第１号　利甕薜陀三喜多　引　1874～1876.
（リグ・ヴェーダ・サンヒター）
46冊
黒田行元（麹廬）重訳　自筆本
わが国における、インド最古の宗教文献「リグ・ヴェーダ」の翻訳の嚆矢（英訳本からの翻訳本）である。悉曇文字に片仮名のルビをつけるなど、学術業績書としても貴重な資料である。

申請第２号　Tuer, A. :History of the Horn-book.
Vol. 1 and 2. London, 1986.
（Horn－book の歴史）
２冊
Horn－book の実物が添付

申請第３号　Casati, P. : Fabrica, et Uso del Compasso di Proportione.
Bologna, 1664.
（ガリレオ発明の計算器の利用法）
１冊

申請第４号　Indonesian (Sumatra) Manuscript on Folded Palm.
（スマトラのバタック文字写本）
18世紀　　１冊
シュロの葉で作られた蛇腹の両面52面に墨手書き挿絵入折り本
上下木製彫刻入

申請第５号　Ethiopia Manuscript on Vellum.
“Story of St. Pool”.
（聖プール物語）　17世紀　　１冊
エチオピア　ゲーズ文字写本
ヴェラム紙彩色挿絵入
112葉及び彩色図７葉入
冊子体　木製表紙

申請第６号　Ethiopia Manuscript Scroll of the Fable in Vellum.
（エチオピアの巻物）　17世紀
１巻
エチオピア　ゲーズ文字写本
ヴェラム紙彩色挿絵入巻物

エチオピアの巻物（ゲース文字）17世紀頃
ヴェラム紙（貴重書）

平成３年度　調査研究員の委嘱

平成３年度附属図書館調査研究室の調査研究員に、下記４名の教官が委嘱されました。

１．大型計算機センター　星野　聰教授
　調査研究事項　目録カードによる遡及入力の研究
　委嘱期間　平成３年４月１日～平成４年３月31日
２．大型計算機センター　金澤正憲助教授
　調査研究事項　学術情報ネットワークの研究
　委嘱期間　平成３年４月１日～平成４年３月31日
３．大型計算機センター　久保正敏助教授
　調査研究事項　図書資料情報のオンラインサービスの研究
　委嘱期間　平成３年４月１日～平成４月３月31日
４．文　学　部　御牧克己助教授
　調査研究事項　チベット大蔵経の研究
　委嘱期間　平成３月４月１日～平成４年３月31日

○

平成３年度 秋期展示会の開催について

附属図書館では、平成３年11月14日㈭から11月22日㈮(ただし、土曜日、日曜日を除く)の期間、本館展示ホールにおいて秋期展示会「東南アジアの文字と文献」を開催します。

雑誌目録作成講習会の開催

学術雑誌総合目録和文編の確認調査を機会に附属図書館では地域共同利用室で学内の目録入力担当者を対象に雑誌目録作成講習会（学総目作業説明会）を７月10日㈬午前と午後の２回にわけて、下記のとおり開催しました。(システム管理掛、雑誌・特殊資料掛)

記

１．雑誌目録作成作業について（説明）
　①　オンラインによる雑誌目録作成の概要
　　（雑誌・特殊資料掛　大坂　一代）
　②　オンラインによる所蔵登録作業について
　　（システム管理掛　山田　周治）
２．雑誌目録作業の実際（実習）及び質疑応答
３．参加部局・人数
　第１回：理(11)、工(12)、化研(1)、医療短大(1)
　　……計25名
　第２回：文、教育、法、経済、医、薬、農、演習林、教養、人文研、基物研、数研、原子炉、大型セ（各１）
　　……計14名　以上

○

主題別研究集会を開催

近畿地区国公立大学図書協議会の主催による平成２年度主題別研究集会が平成３年２月20日㈬午後２時から附属図書館ＡＶホールで開催されました。関西大学文学部の倉橋英逸教授により「大学図書館における著作権問題」をテーマとして講演があり、18大学から87名の参加がありました。

京都大学附属図書館報「静脩」Vol. 28, No. 2（通巻101号）1991年８月31日発行　編集：静脩編集委員会
（責任者　附属図書館事務部長）　発行：京都大学附属図書館　京都市左京区吉田本町　☎075-753-2613